

箆笥地区協議会

「緑化推進」分科会の活動報告

緑化推進分科会は、箆笥地区の「緑化推進」をメインに活動しています。

平成28年度も、緑化推進への意識向上のため、たんすC&G(クリーンアンドグリーン)作戦と名付けた事業計画のもと、様々な手法で緑化推進の啓発を行いました。

平成28年9月25日には、牛込箆笥地域センター管理運営委員会のUTCオンステージと共催で、『UTCオンステージ&たんす緑と花のまちづくりフェア2016』を開催しました。牛込箆笥地域センター入口では花苗や沼田市の協力を得て産直野菜の販売をしました。地域センター地下1階では、緑化のきっかけづくりとして、粘土団子の作り方を体験できるコーナーを実施しました。2階の牛込箆笥区民ホールでは、まちづくりフェアの最後のイベントとして有限会社緑化技研の小山 隆一(こやまりゆういち)先生による「家庭でも楽しめる野菜の水耕栽培講座」を開催し、さらなる緑化活動を呼びかけました。

また、1階出張所前のロビーではみどり公園課の協力により緑化相談コーナーと工作体験コーナーを設置し、緑化推進の啓発を行いました。さらに、1階のUTCギャラリー(ユーティアーシーギャラリー)では、当分科会の緑化活動を紹介するパネルと、委員が撮影した箆笥町地区管内の緑や花が映える風景の写真をそれぞれ展示しました。

これらの写真は、平成28年12月15日からエコギャラリー新宿で行われた「新宿の花・みどりいっぱい写真展2016」に出展し、昨年度に引き続いて新宿エコワン・グランプリの特別賞を受賞しました。12月21日には、委員でエコギャラリー新宿を訪問し、写真展の見学をしました。

粘土団子を使った緑化の啓発は、29年1月22日の『牛込箆笥地域まつり』でも行いました。また2月には市谷幼稚園で園児を対象に、粘土団子のワークショップを実施しました。

「モデルガーデン」事業は、あさひ児童遊園、新小川公園、中町公園の3箇所で、公園サポーターと協働し、28年度もモデルガーデンの維持管理に取り組みました。

「みどりのカーテンプロジェクト」への参加については、28年度も箆笥町特別出張所のあさひ児童遊園側壁面にゴーヤや朝顔を植え、みどりのカーテンを作り上げました。収穫物は、同じ場所で育てた内藤とうがらしを中心とした4種類のとうがらしと共に、「高齢者給食」や「たんすサロン」などに提供することができました。

28年度は27年度に引き続き、みどり公園課と連携し事業を進めることが出来ました。9月には「みどりの講座」を開催し寄せ植えの体験をすることが出来ました。29年1月の牛込箆笥地域まつりでも、緑化推進委員会のブース内の1コーナーとして工作体験コーナーを設置してもらい、緑化推進の啓発を図ることが出来ました。また、2月の緑化推進分科会の定例会では、第8次新宿区みどりの実態調査についての説明を受け、箆笥地区の緑化の現状について学ぶことが出来ました。

今後も箆笥地区のみどりや花、街並みの魅力をみつめ、緑化や景観の向上に取り組んでまいります。